

令和7年度 第2回学校評価 生徒・保護者アンケート結果について

日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和7年12月12日～12月25日に、生徒・保護者を対象にした学校評価に関わるアンケートを実施しました。アンケートの回収率は、生徒95%、保護者83%でした。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。

つきましては、別紙の通り、結果をまとめましたのでご覧ください。

1 学校評価について

本校では、次のように学校評価を実施しています。

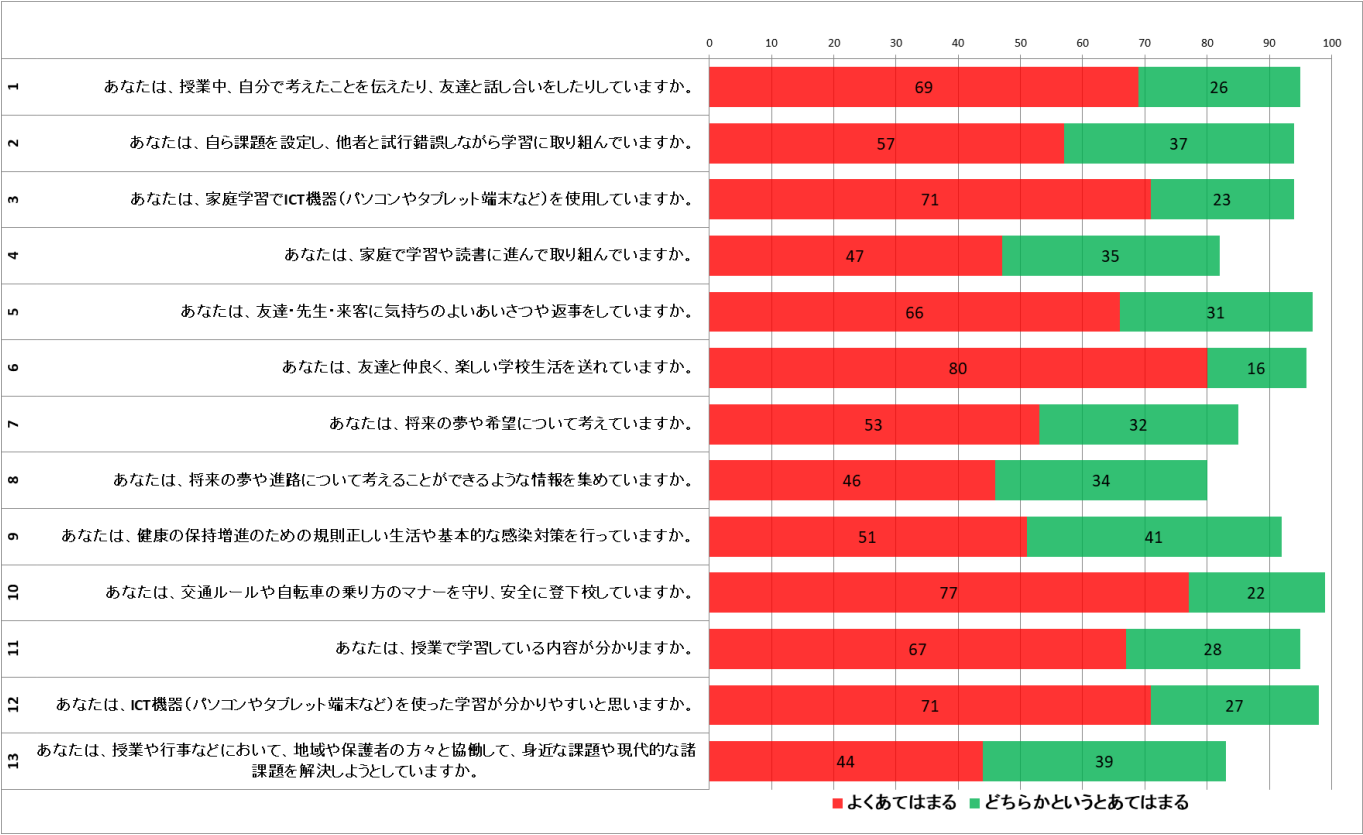
- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。(2) アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教職員による自己評価を行う。(3) 学校関係者評価や自己評価の分析から明らかになった課題を基に、改善に向けた活動を行う。 |
|--|

6月に実施しました第1回のアンケート結果を参考に、その後、教育活動に取り組んでまいりました。今回のアンケートは、今年度2回目の実施になり、第1回のアンケートを踏まえた改善策の評価、この一年間の教育活動の評価の参考とします。

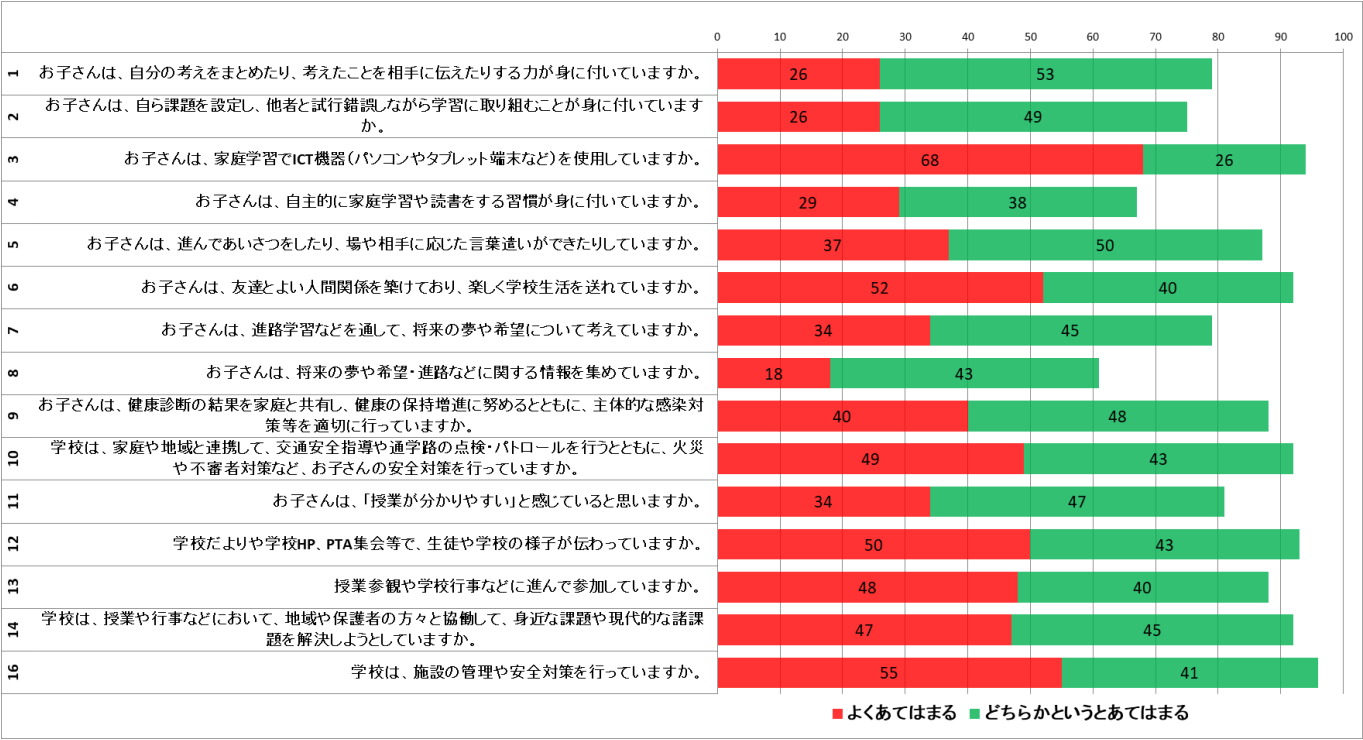
2 資料の見方

- (1) グラフの資料は、アンケートの回答の「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」・「どちらかというにあてはまらない」・「まったくあてはまらない」「わからない」のうち、「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計の割合をまとめたものです。
- (2) 「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計割合の変容が見られた項目や特筆すべき項目について、＜生徒＞と＜保護者＞に分け、第1回からの変化や考えられる要因、ご協力のお願などについてまとめています。

令和7年度第2回学校評価アンケート＜生徒＞ 12月実施



令和7年度第2回学校評価アンケート＜保護者＞ 12月実施



「よくあてはまる」・「どちらかというとあてはまる」の合計割合の変容が見られた項目

(第1回→第2回)

<保護者>

質問番号7 「お子さんは、進路学習などを通して、将来の夢や希望について考えていますか。」 78%→79%

質問番号8 「お子さんは、将来の夢や希望・進路などに関する情報を集めていますか。」 57%→61%

→ 前回と比較して、保護者の皆さまの認識が質問7は1ポイント、質問8は4ポイント向上しました。これは、生徒が将来について主体的に考える機会を重ねてきたことによる成果であると考えられます。3年生は受験期を迎え、三者面談を通して進路や将来についてじっくりと考える時間を持ちました。その中で、自分の目標を達成するために必要な道筋が明確になり、進路選択における情報収集の重要性に気付く生徒が増えています。2年生は、1年次に学習した「職業調べ」を振り返り、現在の興味・関心や適性検査の結果を基に職業選択について考えました。その過程で、職業や進学先をどのように決定していくのかという疑問を持ち、その解決に向けて、保護者の方に「進路をどのように決めたか」「今知っておくとよいこと」などについてインタビューを行う活動に取り組みました。1年生は、3学期に予定している「職業教室」において、各分野の専門家から直接話を聞き、将来の夢や進路に関する情報を収集する予定です。また、「未来創造科」の学習では、「自己の生き方」を見つめる活動や、未来の創造をテーマとした課題解決型の学習を行っており、これらの取組が全学年の生徒に良い影響を与えていると考えています。

今後も、お子さまが自分自身を理解し、将来を主体的に選択できるよう、継続的に情報提供を行ってまいります。あわせて、PTA集会や三者(二者)面談等を通じて、保護者の皆さまにも適切な情報をお伝えしていきます。キャリア教育の推進に、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<生徒>

質問番号5 「あなたは、友達・先生・来客に気持ちのよいあいさつや返事をしていますか。」 95%→97%

→ 前回の学校評価アンケートと比較すると、生徒の意識が2ポイント向上しました。この結果は、学友会目標である「魁進(かいしん)」の達成に向けて、生徒一人一人が「今の自分に何ができるか」「集団の中でどのように行動すべきか」を主体的に考え、日々の学校生活の中で実践してきた成果であると考えています。単に指示されたから行動するのではなく、自ら考えて行動しようとする姿勢が、あいさつや返事といった基本的な生活習慣の改善につながりました。また、生活規律委員会を中心に継続して取り組んでいる「あいさつ運動」も、大きな効果を発揮していると考えられます。あいさつを交わすことが当たり前の雰囲気となり、学年や立場を越えた温かい人間関係づくりにも寄与しています。こうした生徒主体の活動が、学校全体の雰囲気を明るくし、生徒の意識向上を後押ししていると言えます。さらに、この成果は学校内の取り組みだけでなく、家庭においてもあいさつや礼儀を大切にする声かけをしていただいたことによる影響も大きいと考えています。学校と家庭が同じ方向性を共有し、連携して指導を行ってきた結果、生徒の意識と行動の両面に良い変化が表れたものと捉えています。

今後も、生徒の主体性を大切にしながら、学校・家庭・地域が一体となって、より良い学校生活の実現を目指していきたいと考えていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

質問番号6 「あなたは、友達と楽しく学校生活を送れていますか。」

→ 前回同様、生徒の95%以上が友達と楽しく学校生活を送れていると回答しました。これは、学習面・行事面の双方において、学校生活が充実していることが挙げられます。学習面では、課題を自分事として捉え、自ら考えたことを友達に伝えたり、意見を交流したりする活動を積極的に行うことで、主体的に学習へ取り組む姿が多く見られました。こうした学びを通して、生徒同士の関わりが深まり、互いを認め合う雰囲気が育まれています。また、行事面では、附中三大大行事をはじめとするさまざまな行事に対し、「よりよいものにしよう」という意識を生徒一人一人がもって取り組んでおり、仲間と協力してやり遂げる経験を重ねてきました。その結果、どの行事も大きな達成感をもって終えることができ、生徒の学校生活に対する満足感や友人関係への肯定感が高まったと考えられます。